

かけはしがわ



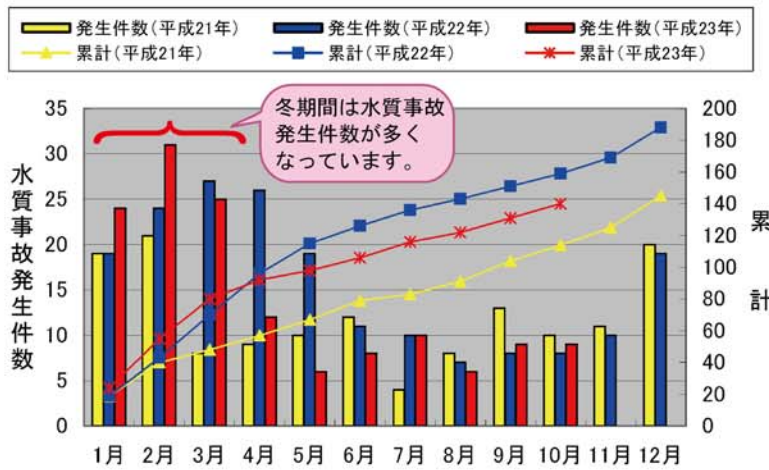
発行 国土交通省金沢河川国道事務所

油類の取り扱いには十分にご注意下さい。

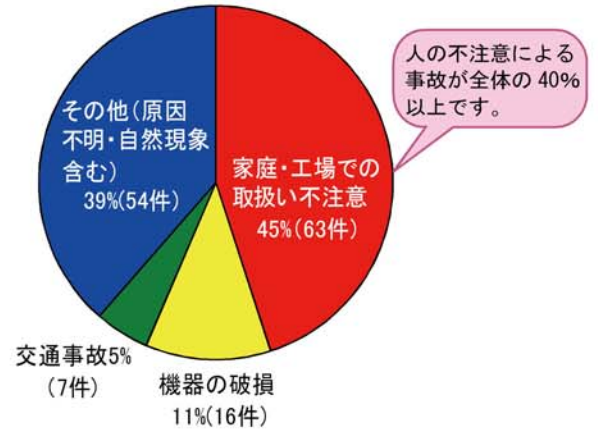
～冬期は油類の河川への流出事故が多発する時期です！～

冬期間は暖房器具の灯油など、家庭で油類を使用する機会が増えてきていますが、これに伴い、油類が河川に流出する危険も増えてきます。油類の流出事故は多くの場合は不注意によるものが多く、皆さんも油類の取り扱いには一層ご注意ください。河川に油類が流れていることを発見しましたら、ただちに最寄りの消防署・市役所・県土木事務所・国土交通省小松出張所へ連絡をお願いします。

◆月別の水質事故件数（平成21年1月～平成23年10月）



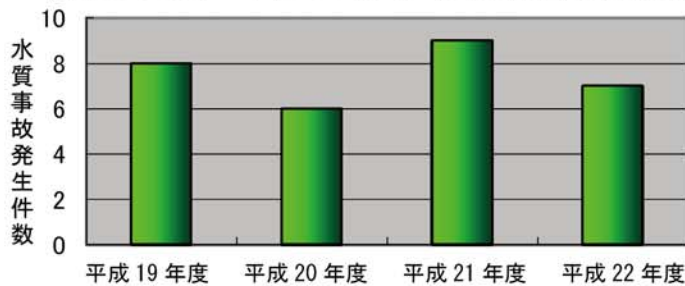
◆水質事故の発生原因（平成23年1月～10月）



※このグラフデータは北陸地方整備局調べによる。

◆手取川・梯川における水質事故件数

(平成19年度～平成22年度) (金沢河川国道事務所調べ)



水質事故とは？

家庭や工場などでの人為的な誤操作や機械の故障・廃棄物の不法投棄などにより、河川・湖沼・海域等に、油や化学薬品等の汚染物質が流出し、魚の大量死・異臭・油浮きが発生することです。

水質事故が発生すると、河川等の水質や生態系に大きな影響を与えるほか、水道の断水や農水産物への影響など、人々の生活に重大な被害を与えることがあります。

一水質事故対応訓練一

10月28日(金)、工場や宅地から梯川に流れ出した油の被害拡散防止が迅速に行えるように、国・県・市町・消防の職員約30名が集まり梯川の前川排水機場内(小松市小島町)において、水質事故対応訓練を行いました。初めに油の回収方法や油の種類と特徴等について講習会を行いました。その後、前川排水機場放流口で、オイルフェンス等を設置する訓練を実施しました。



オイルフェンスとは？

油類などが、河川、湖沼、海などの水面上に流れ出した場合に、オイルフェンスを設置して油類が広がるのを防止します。